

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

| | | | |
|--------------|--|--------------|-------------------|
| ① 研究課題名 | 機械学習による肺癌の遺伝子変異およびPDL-1発現の予測モデルの構築 | | |
| ② 実施予定期間 | 2020年10月30日から2024年3月31日 | | |
| ③ 対象患者 | 対象期間に胸部の単純CT検査と病理検査を受け、肺癌の遺伝子変異の有無もしくは腫瘍の抗体(PDL-1)の発現の有無が明らかにされている患者さん。年齢や性別及びCT装置は問いません。 | | |
| ④ 対象期間 | 2012年10月1日～2020年3月31日 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 山口大学医学部附属病院 | | |
| ⑥ 対象診療科 | 呼吸器・感染症内科 | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 椎木 健裕 | 所属 医学部附属病院 放射線治療部 |
| ⑧ 使用する情報等 | 診断目的で取得された胸部単純CT画像および病理検査後に診療科医師により診断された遺伝子変異及びPDL-1の発現の有無の結果。 | | |
| ⑨ 研究の概要 | 近年、肺癌の治療には分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬が用いられています。投薬を行うためには侵襲性を伴う遺伝子検査や腫瘍抗体(PDL-1)検査を行う必要があり、検査の結果が分かるまでは時間を要するため、治療開始が遅くなることが問題となっています。このため、適切な分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬を選択し、早期に治療を開始するために短時間で正確に遺伝子変異やPDL-1の発現を調べる必要があります。本研究では、対象期間中に日常診療で撮像される胸部の単純CT画像から肺癌の腫瘍の特徴を解析することにより、肺癌の遺伝子変異およびPDL-1の発現との組み合わせを機械学習によって予測するモデルの開発を行います。 | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2022年 3月 23日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑫ 結果の公表 | 学会や論文等で公表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 山口大学に帰属します。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 文部科学省科学研究費 | | |
| ⑯ 利益相反 | ありません | | |
| ⑰ 問い合わせ先・ | 山口大学医学部附属病院 放射線部 担当者：川添 優介 | | |

| | | | | |
|------|----|--------------|-----|--------------|
| 相談窓口 | 電話 | 0836-22-2659 | FAX | 0836-22-2961 |
|------|----|--------------|-----|--------------|